

Rotary Moriguchi Evening

2024-2025
Weekly Bulletin no.10 District 2660 Rotary Club

創立 2000年11月2日
例会日 木曜日 18:30-19:30
例会場 ホテル・アゴーラ大阪守口
事務局 守口市河原町10-5
ホテル・アゴーラ大阪守口5F
TEL06-6995-7440 FAX06-6995-7441
会長 長野 良雄
幹事 水谷 武志
会報担当 クラブ運営委員会
E-mail m-evening@msj.biglobe.ne.jp
http://www7b.biglobe.ne.jp/~m-eveningrc/



- ◆国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック
- ◆第2660地区ガバナー 大橋 秀典
- ◆クラブテーマ「言葉ではなく行動で」

本日例会 2024年10月24日(木) 第981回

クラブ親睦例会(ノーマイカー例会)

担当：社会奉仕委員会

卓話：「現世ばなし」

藤井 俊章 会員

前回例会 2024年10月10日(木) 第980回

- 1.開会 会長
- 2.国歌斉唱
- 3.ロータリーソング「奉仕の理想」
- 4.四つのテスト唱和
- 5.お客様のご紹介
米山奨学生 宋 ハヌルさん
- 6.ニコニコ箱報告(小計3,000円 累計76,000円)
江端会員 ハヌルさんの卓話に！
- 7.会食
- 8.委員会報告
 - ①地区大会分科会Ⅱ案内 柳本増強委員長
 - ②秋のライラ参加報告 小林会員
 - ③米山レクリエーション参加報告
江端米山委員長
 - ④職業奉仕委員長会議報告
元古会員増強委員長
 - ⑥三クラブ合同コンペ案内 福田親睦委員長
 - ⑦米山表彰
受賞者：江端会員 北山会員 寺田会員
米山功労クラブ13回目
- 9.幹事報告
 - 定例理事会報告
 - ①地区依頼能登半島豪雨災害支援金募金の件
10/10募金活動実施 募金額11,000円
 - ②大阪平野RC50周年事業参加依頼の件(否決)
 - ③創立24周年記念例会の件(承認)
 - ④2023-24年度地区財務表及び財務報告書ク
ラブ投票の件(承認)
 - 回覧 10/24親睦食事会出欠確認回覧
 - 事務局閉局連絡 10/11(金)有給休暇取得
 - 10月例会開催日 10/10、10/24

- 10.出席報告(会員総数17名)
10月10日 出席9名 欠席8名 出席率52.94%
メイクアップ報告
8月22日 出席12名 欠席5名 出席率70.59%
(メイクアップ者1名)
- 11.会長の時間
- 12.本日のプログラム
担当：国際奉仕委員会
卓話：「RYLAで得た学びと看護への応用」
卓話者：米山奨学生 宋 ハヌルさん
- 13.閉会 会長
○例会前の会合 定例理事会

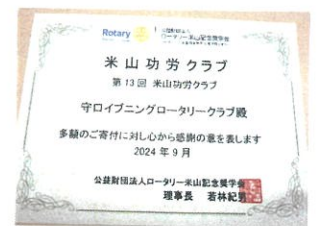
会長の時間

くずはRC創立50周年記念事業公開例会として、ゴルゴ松本さんの講演会「命の授業」が開催されます。ゴルゴ松本さんは2011年から少年院等で命や人生をテーマにボランティア講演の活動をされているそうです。お時間のある方は是非ご参加下さい。

- ・開催日：11月23日(土・祝)
- ・会場：枚方市総合文化芸術センター
関西医大大ホール
※事前登録必要、入場無料、定員1000名

◆米山表彰◆

米山功労者3回目 江端会員 北山会員
1回目 寺田会員
米山功労クラブ 13回目



◆10月31日(木)定款休会

次回例会 2024年11月 7日(木) 第982回

「創立24周年記念例会」

卓話 「RYLAで得た学びと

看護への応用」

米山奨学生 宋 ハヌル さん

【つなぐリーダーシップとは】

リーダーシップの定義とは、集団になんらかの目標を設定し、集団を統率しつつ、その課題を遂行・先導する能力やその過程であるそうです。私たちはリーダーシップと聞くと思い浮かぶのは他のメンバーを気遣えて、判断して指示できること、つまり行動力があって、場面によってはしっかりしきることができることだと思っていました。

しかし前日のワールドカフェで他の班が思う「つなぐ」ことは何か、を聞いて、「つなぐ」ためのリーダーシップに必要な要素は、言葉だけでなく、表情や態度、体の動きなどの非言語的コミュニケーションを活用し、メンバー一人ひとりの立場や感情を理解、それに寄り添う力の共感を発揮すること。また、チームメンバーの強みを理解し、それを引き出し、常にメンバーと協力し合う視性が大切だと考えました。



【自己成長】

RYLAでの学びを通して得た自己成長は、特にコミュニケーション能力の向上と自信の獲得です。RYLAでは、多様な背景を持つ参加者や指導者と交流する機会が豊富にありました。さまざまな価値観や考え方を人々と対話する中で、他者の意見を尊重しつつ、自分の考えを明確に伝えるスキルが磨かれました。次に、グループ発表の準備やディスカッションを通じて、リーダーとして意見をまとめることや、メンバーとしてリーダーの意見を尊重しつつ、自分の考えもしっかり伝えることができました。これらの経験を積む中で、責任を持って行動し、他者とサポートし合うことができるという自信が生まれました。

これらの自己成長は、看護師としての実務において他者との信頼関係を築き、より積極的にリーダーシップを発揮できる土台となるでしょう。



【看護への応用】

RYLAでの学びを、看護へどのように応用できるかを考えてみました。

まずRYLAでは、多様な背景を持つ人々と交流し、異文化理解や国際的な視点を学びました。今後グローバル化に伴う国際看護において、異なる文化や価値観を持つ患者とのコミュニケーションが重要です。RYLAで培った多様性に対する理解力や共感力は、異なる国や文化圏での看護ケアを提供する際に大いに役立つと思います。また国際的な医療基準や倫理に基づいて対応できる能力を強化できます。

次にRYLAで学んだリーダーシップやコミュニケーションスキルは、多職種連携（医師、薬剤師、理学療法士など）においても非常に重要です。異なる専門職の人々と協力し、共通の目標に向かって患者のケアを提供するためには、円滑なコミュニケーションとチームの調整が欠かせません。RYLAで学んだ他者の意見を尊重しながらリーダーシップを発揮するスキルは、看護現場で多職種チームと協力し質の高いケアを実現するために役立ちます。

最後に、RYLAではチームでの活動を通じて協力の重要性を学びました。チームナーシング（複数の看護師がチームを組んでケアを提供する方法）では、各メンバーが互いの役割を理解し、サポートし合いながら患者ケアを行います。RYLAで培ったチームワークやリーダーシップスキルは、チームナーシングにおいても有効であり、チーム全体の士気を高め患者ケアの質向上に貢献します。また、チーム内での問題解決や調整役としても活躍できるでしょう。